

令和3年度 道管理空港の空港別収支の試算結果について

1 経緯等

北海道では、空港運営の透明性を確保する観点で、国の空港別収支を参考にしながら、平成22年(平成20年度決算分)から、道管理空港の空港別収支(キャッシュフローベース)の試算結果を、平成24年(平成22年度決算分)からは、企業会計の考え方を取り入れた空港別収支(損益)の試算結果も公表している。

※ 女満別空港については、令和2年1月から空港ビル、令和3年3月から滑走路等空港施設の運営が民間事業者に移行したことから、国と同様に本試算の対象外としている。

2 空港別収支の試算

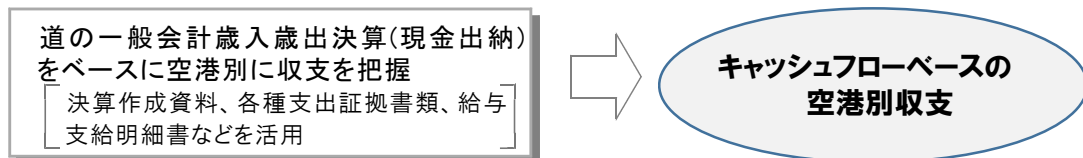
国の試算方法を参考に道管理空港の整備・維持運営に係る経費を抽出・按分等により算出している。

なお、厳密な企業会計の基準に基づくものではないことから、試算の位置づけとしている。

(1) 航空系事業の収支(キャッシュフローベースの収支)

道一般会計歳入歳出決算から道管理空港の維持運営・整備に係るものを抽出し、現金出納による収支(キャッシュフローベース)を把握。

企業会計における「キャッシュフロー計算書」とは異なる。



(2) 航空系事業の損益(企業会計の考え方を取り入れた収支)

道一般会計歳入歳出決算から道管理空港の維持運営・整備に係るものを抽出するとともに、公有財産台帳を照合するなどし、企業会計の考え方を取り入れた計算を行い、収支等を把握(損益計算書及び貸借対照表の内容に準じるもの)。



(3) 非航空系事業の損益等

空港ビル会社が行っている事業(非航空系事業)に関する決算数値等に基づき作成。

(4) 航空系事業・非航空系事業の損益等の合計

(2)航空系事業の損益、(3)非航空系事業の損益等の単純合計。

(5) <参考データ>航空系事業・非航空系事業の EBITDA 試算値

(2)、(3)により、航空系事業・非航空系事業の EBITDA を試算。

3 令和3年度試算の概況

(1) 航空系事業の収支(キャッシュフローベースの収支)

(単位:百万円)

科目	合計					
		中標津	紋別	奥尻	利尻	礼文
歳入	600	55	404	40	101	-
歳出	1,860	481	803	169	394	13
歳入歳出差額	▲1,260	▲426	▲399	▲129	▲293	▲13

(2) 航空系事業の損益(企業会計の考え方を取り入れた収支)

(単位:百万円)

科目	合計					
		中標津	紋別	奥尻	利尻	礼文
営業収益	60	19	16	9	16	-
営業費用	1,691	522	493	195	468	13
営業損益	▲1,631	▲503	▲477	▲186	▲452	▲13
営業外収益	2	1	0	0	1	-
営業外費用	2	1	0	0	1	-
経常損益	▲1,631	▲503	▲477	▲186	▲452	▲13

(3) 非航空系事業の損益等

空港ビル会社の損益

(単位:百万円)

科目	合計					
		中標津	紋別	奥尻	利尻	礼文
営業損益	0	▲18	18	-	-	-
経常損益	6	▲13	19	-	-	-

※ 奥尻、利尻、礼文の各空港には空港ビル会社は存在しない。

(4) 航空系事業・非航空系事業の損益等の合計

(単位:百万円)

科目	合計					
		中標津	紋別	奥尻	利尻	礼文
営業損益	▲1,631	▲521	▲459	▲186	▲452	▲13
経常損益	▲1,625	▲516	▲458	▲186	▲452	▲13

※ 上記(2)(3)の単純合計である。

(5) <参考データ>

航空系事業・非航空系事業の EBITDA 試算値

上記(2)、(3)を用いて EBITDA を試算した結果は次のとおりである。

(単位:百万円)

区 分	合 計	中標津	紋別	奥尻	利尻	礼文
航空系事業	▲1,265	▲426	▲403	▲129	▲294	▲13
非航空系事業	70	36	34	—	—	—
合計値	▲1,195	▲390	▲369	▲129	▲294	▲13

- ※ EBITDA : Earnings Before Interest, Tax, Depreciation and Amortization (利払前税引前償却前営業利益)
1年間の営業を通じて得られるキャッシュフロー(実質的な利益水準)を表す指標であり、投資家等が企業分析をする際に良く使われる(以上、国交省資料から関係分を抜粋。)
- ※ 航空系事業 EBITDA の試算に当たり、道では国管理空港の算出手法を参考に EBITDA ≡ 経常損益 + 支払利息 + 減価償却費 - (国庫補助金収入 + 地方債償還時交付税収入 + 航空機燃料譲与税 + 一般財源受入)として数値を求めた。また、非航空系事業 EBITDA は、空港ビル事業者の損益を基礎として算出した。
なお、合計値は、単純合計したもの。

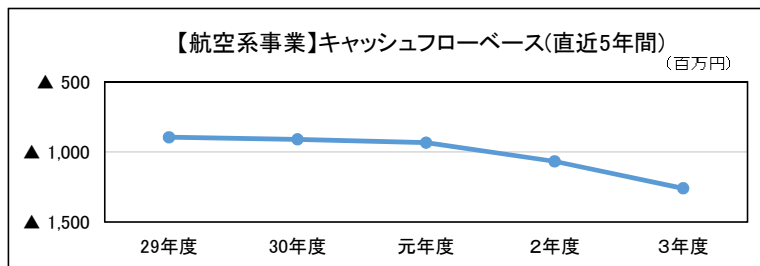
4 過去5年間の道管理空港関連数値の推移(全道計)

(1) 航空系事業の収支(キャッシュフローベースの収支)

(単位:百万円)

	道管理空港全体	対前年度比
29年度	▲ 896	—
30年度	▲ 911	▲ 15
元年度	▲ 934	▲ 23
2年度	▲ 1,067	▲ 133
3年度	▲ 1,260	▲ 193

※対元年度比では▲326百万円



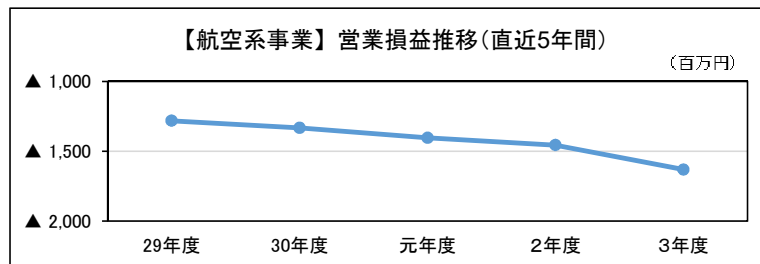
(2) 航空系事業の損益(企業会計の考え方を取り入れた収支)

営業損益

(単位:百万円)

	道管理空港全体	対前年度比
29年度	▲ 1,282	—
30年度	▲ 1,333	▲ 51
元年度	▲ 1,405	▲ 72
2年度	▲ 1,455	▲ 50
3年度	▲ 1,631	▲ 176

※対元年度比では▲226百万円

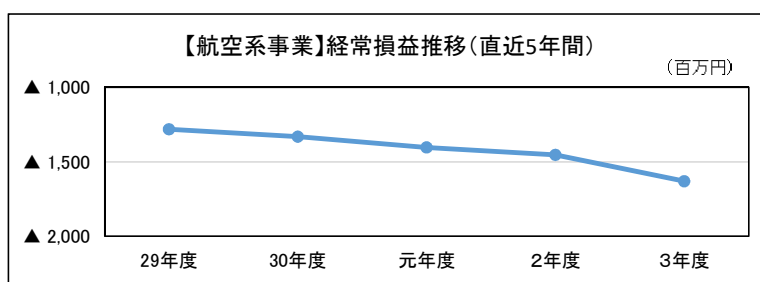


経常損益

(単位:百万円)

	道管理空港全体	対前年度比
29年度	▲ 1,282	—
30年度	▲ 1,332	▲ 50
元年度	▲ 1,405	▲ 73
2年度	▲ 1,455	▲ 50
3年度	▲ 1,631	▲ 176

※対元年度比では▲226百万円



(3) 非航空系事業の損益等

営業損益(空港ビル)

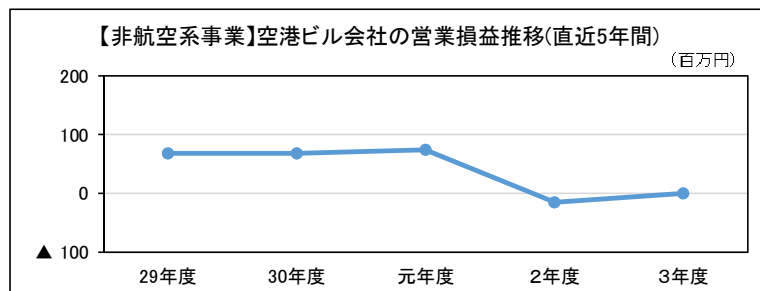
(単位:百万円)

	道管理空港全体	対前年度比
29年度	68	—
30年度	68	0
元年度	74	6
2年度	▲ 15	▲ 89
3年度	0	15

※対元年度比では▲74百万円

* 空港ビル事業者に限る

* ビルは中標津、紋別空港のみ



経常損益(空港ビル)

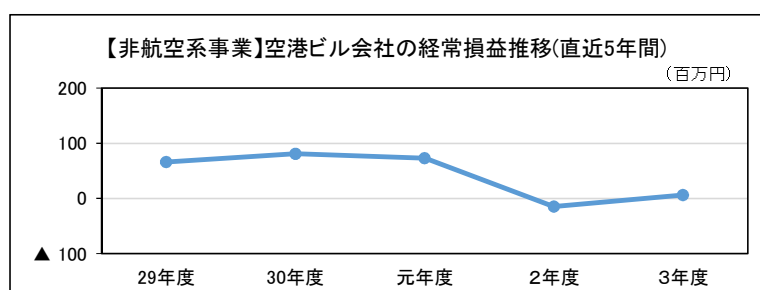
(単位:百万円)

	道管理空港全体	対前年度比
29年度	66	—
30年度	81	15
元年度	73	▲ 8
2年度	▲ 15	▲ 88
3年度	6	21

※対元年度比では▲67百万円

* 空港ビル事業者に限る

* ビルは中標津、紋別空港のみ

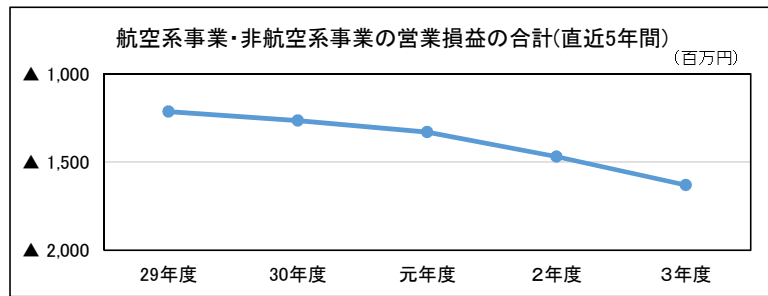


(4) 航空系事業・非航空系事業の損益等の合計

営業損益 (単位:百万円)

	道管理空港全体	対前年度比
29年度	▲ 1,214	—
30年度	▲ 1,265	▲ 51
元年度	▲ 1,331	▲ 66
2年度	▲ 1,470	▲ 139
3年度	▲ 1,631	▲ 161

※対元年度比では▲300百万円



経常損益 (単位:百万円)

	道管理空港全体	対前年度比
29年度	▲ 1,216	—
30年度	▲ 1,251	▲ 35
元年度	▲ 1,332	▲ 81
2年度	▲ 1,470	▲ 138
3年度	▲ 1,625	▲ 155

※対元年度比では▲293百万円

